

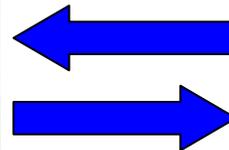
研究・教育体制

長崎大学大学院
医歯薬学総合研究科

長崎県離島医療圏組合
五島中央病院

「離島・へき地医療学講座」

「離島医療研究所」



離島・へき地の研究教育拠点
助手、研究補佐員が常駐

長崎県、旧下五島地区1市5町

寄附講座における活動計画(計画段階案)

1. 医療教育研究(地域医療専門家養成を含む)
 - ①医学教育
 - ②大学院生教育
 - ③研修医教育
 - ④コメディカル教育(保健学科教育、歯学、薬学など)
2. 効果的地域医療情報システムの開発研究
 - ①医療支援システム研究
 - ②患者サポートシステム研究
3. 健康、疾病に関する疫学調査研究
 - ①成人T細胞白血病発症に関する研究
 - ②動脈硬化リスク遺伝子研究
4. 高齢化対策長寿研究
5. 歯科分野における研究(う歯予防など)
6. 離島における医薬品の供給実態調査研究

研究活動

1. 医学教育研究

- 1) 離島医療・保健実習の効果
- 2) 離島医療に対する意識変容の調査

2. 医・歯・薬学統合研究

- 1) 動脈硬化と生活習慣
- 2) 成人T細胞白血病、HTLV-1
- 3) 口腔内細菌と歯周病
- 4) 地域のニーズに合った研究

3. 地域診断

離島医療・保健実習

「地域と連携した実践型医学教育プログラム」

～現代版「赤ひげ」の育成を目指した

長崎県五島列島における包括的保健・全人的医療教育の実践～

文部科学省平成16年度

「特色ある大学教育支援プログラム」

ヒアリング：平成16年7月14日（東京）

平成16年度の応募件数：534件

採択件数：58件（約10.9%）

離島医療・保健実習

対象: 長崎大学医学部5年次生(平成16年度96名全員)

期間: 平成16年9月～平成17年3月

実施場所: 五島市内の医療・保健・福祉施設

五島中央病院、富江病院、奈留病院
山内診療所、三井楽診療所、玉之浦診療所
五島保健所、五島市健康政策課(保健センター)
五島市社会福祉協議会福江支所

グループ: 1グループ6～7名の14グループ

スケジュール:

1グループずつ月～金の5日間五島へ滞在

1グループを2班に分けてローテーション実習を行う

第1班が保健→医療→福祉、第2班が医療→保健→福祉

医療については基幹病院(五島中央病院)と前線医療施設での実習を行う

アンケート項目の抜粋

【基本事項】

- 1.五島に行ったことがありますか
- 2.五島は遠いと感じましたか

【将来について】

- 1.専門医と総合医のどちらになりたいですか
- 2.離島に定着して働きたいと思えますか

【離島医療について】

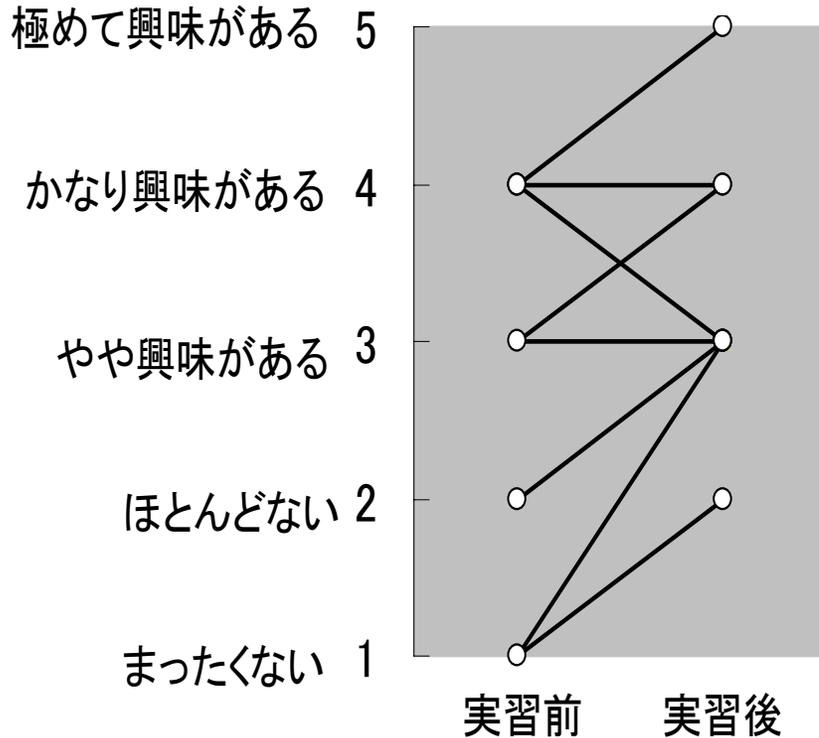
- 1.離島医療に興味がありますか
- 2.離島医療にやり甲斐を感じますか
- 3.将来、離島で勤務したいと思えますか
- 4.勤務するなら、どのくらいの期間勤務したいと思えますか
- 5.離島勤務で不安を感じることは何ですか

【五島実習について】

- 1.実習は面白かったですか
- 2.医師としての今後の方向性の参考となりましたか

アンケート結果5

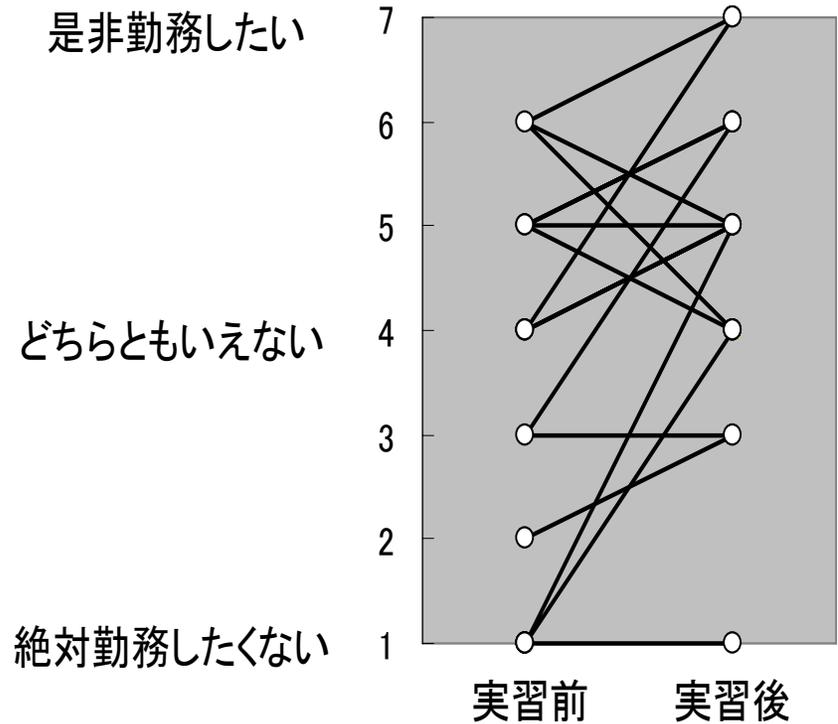
離島医療に興味がありますか？



Average	2.8	3.5
S.E.	0.21	0.15
t-test	P<0.001	

(n=21)

将来離島で勤務したいと思いますか？

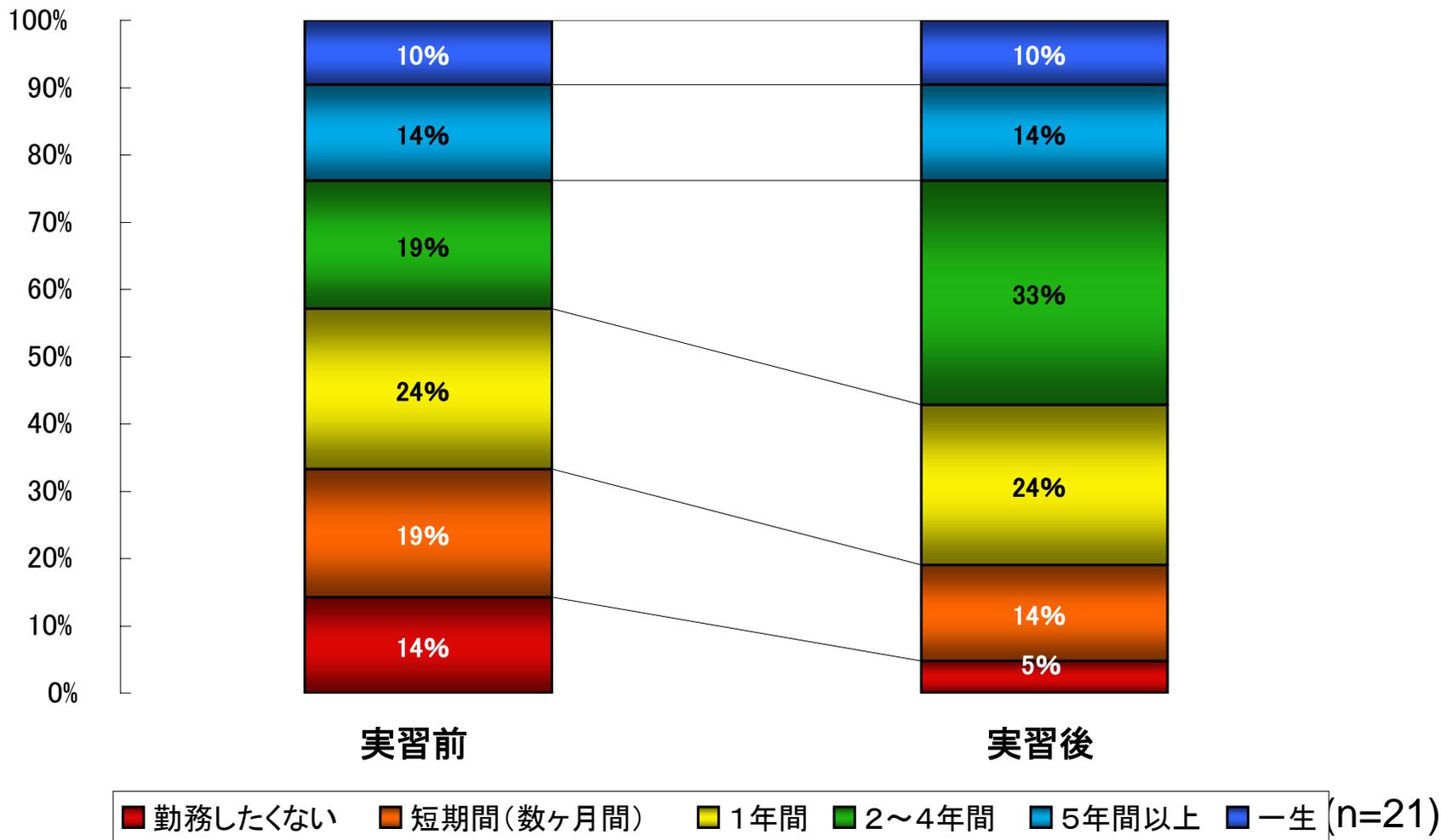


Average	4.0	4.8
S.E.	0.35	0.31
t-test	P<0.05	

(n=21)

アンケート結果6

離島に勤務するなら、どのくらいの期間勤務したいと思いますか？



長大生が離島医療学ぶ

目指せ現代版「赤ひげ」医師

【五島】小説の主人公「赤ひげ」のような人間味あふれる医師の育成を目指し、長崎大医学部が本年度から五島市内で取り組んだ離島医療・保健実習が二十五日終了。医学生計十四班九十六人が昨年九月から順次来島し、病院、診療所、保健

は二十四日、四人が奈留病院などで実習。三人は玉之浦町中須生活館で、軽度精神障害者やボランティア「仲良し会あじさい」（道下妙永会長）と交流した。

同大大学院医歯薬学総合研究科に開設した「離島・へき地医療学講座」の活動拠点、離島医療研究所（五島中央病院内）が実習に対応。学生は一班六～七人

障害者の一人は「ゆっくり話を聞いてくれる先生になって」などと願いを託した。

14班96人の実習終了

所などで離島医療の現実を学んだ。

学生の岩永香織さん（二四）は「患者を体だけでなく総合的に診ることが医療だと感じた」。村田岳哉さん（三〇）は「離島医療は十分な技術が必要。一人前のドクターになった上で離島に赴任するのは『ありです』と話した。

同実習は、本年度に新設した医学科五年生の必修カリキュラムで、将来の離島医療を担う人材確保の狙いもある。文部科学省が資金を重点配分する「特色ある

新年度からは、六年生の高次臨床実習で「離島・地域医療」が新たに実習診療科（選択）の一つとなり、本年度五島での実習を経験した学生のうち数人が五島中央病院を拠点に、より高度な内容を学ぶ。五年生の離島実習も九月から始まる。



地域のボランティアと意見交換する医学生（中央）
＝五島市玉之浦町中須生活館

離島医療研究所長の前田隆浩教授は「実習後は離島へのネガティブなイメージが払しょくされ、進路選択の幅を広げた。五島でのハイレベルな高次臨床実習の実施で、離島医療への学生の認識は一層深まる」と期待する。